

## → 相続地を征服するために：ヨシュアの遺言メッセージ

1. 御言葉を口ずさむ日々を送る、御言葉を心に留める【ヨシュア 1：8】
2. 御言葉を守り行う；神様の祝福と繁栄が約束された【ヨシュア 1：8、詩編 1 編】
3. 神様を心から愛する：神様にすぎる、偶像を愛さない

## → ヨシュアの死後の世代

志士記 1:1 さて、ヨシュアの死後、イスラエル人は【主】に伺って言った。「だれが私たちのために最初に上って行って、カナン人と戦わなければならないでしょうか。」<sup>2</sup>すると、【主】は仰せられた。「ユダが上って行かなければならない。見よ。わたしは、その地を彼の手に渡した。」<sup>3</sup>そこで、ユダは自分の兄弟シメオンに言った。「私に割り当てられた地に私といっしょに上ってください。カナン人と戦うのです。私も、あなたに割り当てられた地にあなたといっしょに行きます。」そこでシメオンは彼といっしょに行った。

- 1) イスラエルの民は神様に伺いを立てた
- 2) 神様は応答された。「ユダが最初に上っていく」勝利を約束された、
- 3) ユダ族はシメオン族と一緒に、相続地を占領するために戦いに出かけた。
- 4) 神様は、約束通りユダを勝利に導かれた。
- 5) しかし、谷の住民を追い払わなかった。

1:19 【主】がユダとともにおられたので、ユダは山地を占領した。しかし、谷の住民は鉄の戦車を持っていたので、ユダは彼らを追い払わなかった。

## → イスラエルの民の不従順と妥協

- ユダに続いて、次々と追い払わない民を相続地に残しておいた。
- イスラエルは、先住民を追い払わなかった
  - 【カナン地の7つの民族、神様が最も嫌われる民】と結婚して偶像礼拝を行い神様を捨てた。
  - 1) ベニヤミン族 【1：21】  
エブス人を追い払わなかった  
エブス人は今日までベニヤミン族といっしょにエルサレムに住んでいる。
  - 2) マナセ族 【1：27】  
カナン人はその土地に住み続けた  
強くなってカナン人を苦役に服させたが追い払わなかった
  - 3) エフライム族 【1：29】  
ゲゼル人を追い払わなかった  
カナン人はゲゼルで彼らの中に住んだ。
  - 4) ゼブルン 【1：30】  
キテロン、ナハロルの住民を追い払わなかった  
カナン人は彼らの中に住み、苦役に服した
  - 5) アシエル 【1：31】  
アシエル人は、その土地に住むカナン人の中に住みついた。  
彼らを追い払わなかったからである。
  - 6) ナフタリ 【1：33】  
テ・シメシユの住民やベテ・アナテの住民を追い払わなかった。  
その土地に住むカナン人の中に住みついた。  
しかし、ベテ・シメシユとベテ・アナテの住民は、彼らのために苦役に服した。
  - 7) ダン族 【1：34】 先住民によって圧迫された
  - 8) ガド族、ルベン族、マナセの半部族は約束の地の東側に相続地を求めた。【民数記 32：33】

→ どうして追い出さなかったのでしょうか。

- 1. 恐れ：自分たちにはない強い武器を持っている。【ユダ部族】
- 2. 高慢：自分たちがカナン人を奴隷として支配する。【マナセ、ゼブルン、ナフタリ族】
- 3. 圧迫：カナン人から圧迫されて追い出すことができなかった。【ダン部族】

### 御言葉【神の契約】

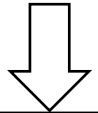
誰によって与えられた土地？【恵み、誠実】  
誰が敵を追い出す？【力と約束】



神様が不在



不従順



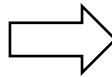
→ 神様の宣告 【志士記2：1～3】

- 神様はイスラエルとの契約を決して破らない
- イスラエルが契約を破ったので、神様も契約を守らない。カナン人を追い出さない
- カナン人はイスラエルの敵となる。カナン人の神々が畏となる。

→ 神様に従いつづけたカレブ 狭い

ヨシュア 14:12 どうか今、【主】があの日約束されたこの山地を私に与えてください。あの日、あなたが聞いたように、そこにはアナク人がおり、城壁のある大きな町々があったのです。【主】が私とともにいてくだされば、【主】が約束されたように、私は彼らを追い払うことができます。」13 それでヨシュアは、エフネの子カレブを祝福し、彼にヘブロンを相続地として与えた。14 それで、ヘブロンは、ケナズ人エフネの子カレブの相続地となった。今日もそうである。それは、彼がイスラエルの神、【主】に従い通したからである。15 ヘブロンの名は、以前はキルヤテ・アルバであった。アルバというのは、アナク人の中の最も偉大な人物であった。そして、その地に戦争はやんだ。

- 神様の御言葉、約束を忘れない。
- 神様の力を信じ続ける
- 神様と共に歩み続ける



神様の一方的な恵みを忘れない  
持てるものすべては主がくださった  
物質的なもの：財産、家、車、仕事、  
肉体的なもの：命、健康  
霊的なもの：賜物、救い、永遠の命

応用 イエス様を愛して、従い、征服しましょう。

1. イエス様との関係を確立しましょう。
  - a) イエス様に感謝する生活をしましょう。恵と哀れみを忘れないように。
  - b) 聖霊様によって導かれ、御言葉に従いましょう。自分の思いと考え、感情で歩まないように。
2. 自分の偶像と戦う  
金持ちの青年は律法をきっちり守っていたが、心の中にはこの世の富の偶像があった。  
イエス様に、財産を貧しい人に分け与えなさいと言われた時に、従うことができなかった。  
放置しておく、悪魔に機会を与えてしまいます。
3. 高慢の霊と戦う  
アダムとエバは神様に従う事より、自分たちで善悪を判断することを選び、悪魔に仕えるようになりました。自分の肉を十字架につけて、謙遜になり、他の人が自分よりも優れたものと思う【ピリピ2】
4. 恐れと戦う  
イスラエルの10部族のリーダーは約束の地の巨人を見て恐れ、不信仰になりました。ヨシュアとカレブは巨人ではなくて、神様の約束と力を見て、信仰により約束の地に入りました。【民数記13】
5. 圧迫の霊と戦う：イスラエルの民はゴリアテの圧迫により、戦うことすらできなかったが、ダビデは神様の力を信じて敵に向かっていった、小石5つと主の御名で巨人から勝利した。[I サムエル17]